

出張
授業

助け合う社会を支える ひとりになる

- 血液事業から考えるわたしたちの社会 -



苦しむ人を救おうとする赤十字の理念や輸血が必要な人を支える血液事業のしくみを通して、助け合いについて考え「自分にもできることがある」ことに気づいていただけるきっかけとなる内容です。

●対象：中学1～3年生 ●時数：1時限(50分) ●関連教科：道徳、総合的な学習の時間

プログラム内容と学習活動のねらい

●社会にある“助け合い”の考え方やしぐみについて知る

- ▶ 日本赤十字社の血液センターで働く職員が、血液事業の成り立ちや現状を例に、社会の中の助け合いのしくみについて解説します。



血液内科のある病院で約5カ月間の入院生活になりました。

輸血で命をつないだ同世代のインタビューを視聴し、献血協力者によって輸血を必要とする人を支える血液事業のしくみを理解いただけます。



グラフから血液事業の現状を読み解き、どんな課題に直面しているかを理解いただけます。

●ほかの人のために、自分が今できることについて考える

- ▶ 社会にはさまざまな助け合いの形があり、その背景には他の人の苦しみに「気づき」「考え」「実行する」人たちがいることを伝え、生徒自身が他の人のためにできることについて考えていただきます。



社会に向けたメッセージを考えるグループワークを実施し、一人ひとりの善意の行動が大きな助け合いにつながることを考えていただきます。



他者のために今自分ができることについて、生徒自身の考えや想いを表現してもらいます。

生徒の意見・感想

社会では人と人とはつながっているということを学びました。このことから、たとえ小さなことでも他人を助けるために活動をしたかったです。

お金のためにではなく、人のために何かをする大切さがわかりました。みんなが笑顔でいられるような世の中にしたいです。

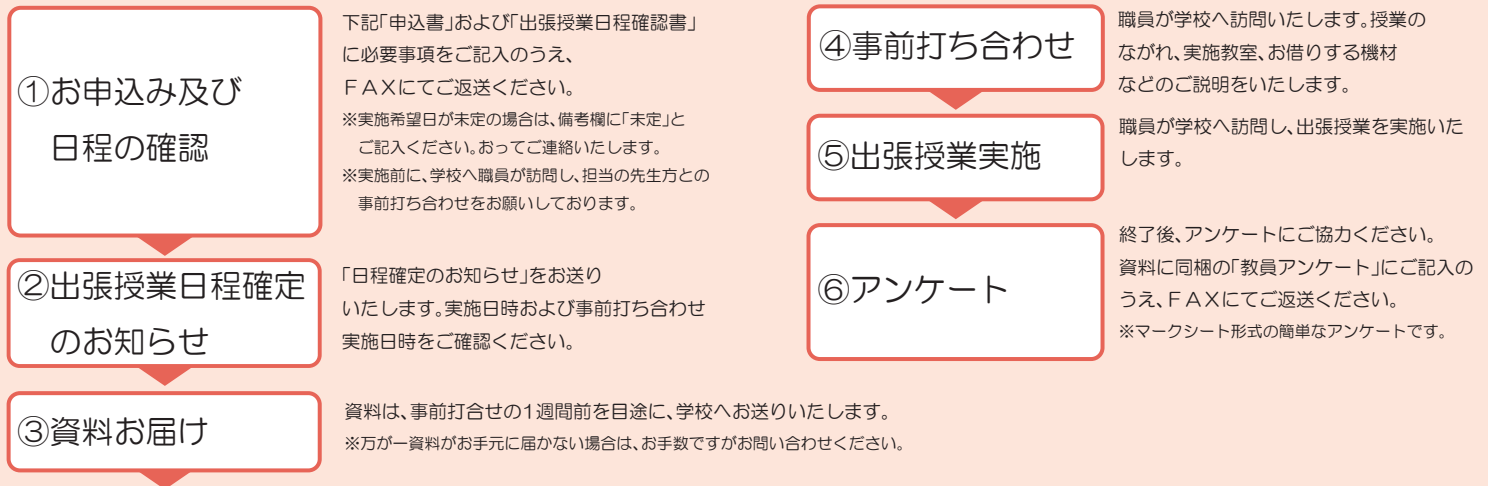
今日の授業をうけて、人は助け合いながら生きていることを知りました。一人ではあまり役に立たなくても、多くの人がいれば、大きな力になりたくさんの人を救うことができます。だから、私はボランティア活動をしていきたいです。

僕の母親は看護師をやっているので僕もよく仕事場に行きます。そのときはいつも読書をしたりして高齢者の方とは話さないのですが、これからは自分から高齢者の方々に近づき、少しでも人のためになれるよう接したいと思います。

出張授業の実施を希望される先生方へ

実施を希望される先生は、下記までFAXにてお申し込みください。

出張授業実施のながれ



日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 助け合う社会を支えるひとりになる 申込書

学校情報	フリガナ						
	学校名						
	フリガナ				フリガナ		
	学校長名				連絡窓口	教員名	
住所	〒 - - 都 道 府 県						
TEL	- -			FAX	- -		
学年情報	実施学年・人数	学年:	年生	クラス数:	クラス	生徒数:	名
	クラス情報	組	名	組	名	組	名
		フリガナ			フリガナ		
		担任名:			担任名:		
フリガナ			フリガナ				
担任名:			担任名:				
実施情報	実施教科	<input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> その他()					
	実施予定	月頃予定					

お預かりした個人情報は、授業実施に関する連絡のみに利用させていただきます。開示・訂正・削除については、下記の個人情報に関するお問い合わせ先までご連絡ください。
 <個人情報に関するお問い合わせ先> 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 総務部 企画課 TEL:03-5534-7668

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 総務部 企画課

FAX

03-5534-7532

<お問い合わせ先>

TEL:03-5534-7668